

「今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい消臭・脱臭の本」

光田 恵 (編著) 岩橋 尊嗣, 一ノ瀬 昇, 棚村 壽三 (著)

159ページ, ¥1,650-
(日刊工業新聞社, 2021年11月30日発行)

あるにおいを嗅いだ時、ふと漂ってきたにおいを嗅いだ時に、過去の情景や懐かしい思い出が蘇ってきた、という経験はないでしょうか。このような現象を『プルス効果 (現象)』と呼びます。本書は、なぜにおいが記憶を呼び覚ますのかという、嗅覚の特性から始まります。

私たちの身の回りには様々なにおいが存在します。一般に、良いにおいを「匂い」や「香り」、不快なおいを「臭気」や「臭い」、より嫌悪を感じるにおいを「悪臭」といいます。さらに、良いにおいから不快なおいまでを総称して「におい」と表記します。しかし、普段は空間演出やリラクセスするために用いられる香りが、濃度や場所・時間帯によって不快な臭いや悪臭になってしまうことがあります。また、においの感じ方は個人差が大きく、同じにおいであっても心地よく感じる人も不快に感じる人もいるため、最近では香害が問題となっています。

このように、においは適切に活用することで私たちの生活を豊かにする一方で、においの制御や管理の難しさを感じている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。本書では、第1章および第2章で嗅覚の仕組みや特性、におい・かおりの役割や物理的・化学的特性などを解説した後、第3章で様々なにおい対策法とその消臭・脱臭メカニズムを紹介しています。さらに、第4章から第6章では、身の回りの嫌なおい、住宅におけるにおい、周辺環境や乗り物、施設におけるにおいの正体と対処法について解説し、においの制御、管理のポイントをまとめています。

誰もが気になる体臭・口臭やペットのにおい、洗濯物の生乾きのにおい、玄関やLDKのにおい対策が紹介されている他、近年、一般家庭にも普及している消臭剤・脱臭剤・芳香剤や空気清浄機の選び方と使い方、重曹やクエン酸などのにおい対策の効果、さらには濡れタオルや新聞紙、10円硬貨など古くから言い伝えられているいわゆる生活の知恵の効果についても科学的にかつ分かりやすく解説されています。また、病院・高齢者施設や災害時の避難所、宿泊施設などのにおいと対処法も紹介されています。(なお、本書の最後には宿泊施設等における『プルス効果 (現象)』を活用したブランドセントが紹介されており、最初から最後まで、「におい」の記憶を辿りながら読みたくなる流れとなっています!) 同シリーズの「トコトンやさしいにおいとかおりの本」(2011年発行)とともに、におい研究に携わっている方のみならず、気になるにおいがある方やおい問題でお困りの方、施設等の管理をされている方にもお薦めの1冊です。

萬羽郁子 (東京学芸大学教育学部)

